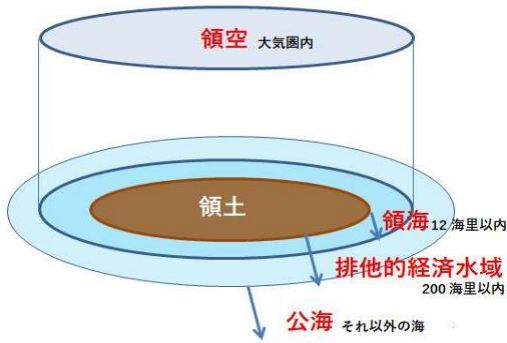


国際社会の仕組み

国際社会における国家

- 主権国家 主権を持つ国々 国家の要素は国民・領土・主権
- 内政不干渉の原則 他国に支配されたり干渉されたりしない権利
- 主権平等の原則 国がほかの国々と対等である権利



- 国の領域は 領土・領海・領空
- 国のシンボル 歌：国家 日本は『君が代』 旗：国旗 日本は『日章旗』

- 公海自由の原則 公海ではどの国の船も自由に航行や操業ができる原則

- 国際法 国際社会で守らなければいけないルール 条約：国と国が結ぶもの 国際慣習法：長い間の慣習が法となったもの

国際連合の仕組み

- 国際連合 1945年に発足した国際機関 本部はニューヨーク

国連の主要機関

総会	年1回開かれる 全ての加盟国が出席		
安全保障理事会	5つの常任理事国（米・露・英・仏・中）と 10の非常任理事国からなる（任期2年）		
経済社会理事会	専門機関 の例	世界保健機関（WHO） 国際労働機関（ILO） 国連児童基金（UNICEF） 国連教育科学文化機関（UNESCO） 国際通貨基金（IMF）	人々の健康維持 労働者の権利 子どもを守る 教育・科学・文化 為替相場の安定

- 常任理事国は拒否権を持つ
1国でも反対すると採決できない
- 平和維持活動（PKO） 紛争地域の停戦監視などの活動
- 国際司法裁判所 条約の解釈や国際法上についての裁判を行う機関

WHO:
World
Health
Organization

ILO:
International
Labour
Organization

IMF:
International
Monetary
Fund

PKO:
Peace
Keeping
Operations

